

教育目標

自ら学び、心豊かでたくましく、ともに生きる

あいさつとは

ふだん、家であいさつをしていますか？「おはよう」・「ってきます」・「ただいま」・「おかえりなさい」・「おやすみなさい」など、家の中でも様々なあいさつと呼ばれるものがあります。学校や社会のなかでもあいさつをする場面はたくさんありますが、なぜあいさつをするのでしょうか？また、なぜあいさつが重要といわれるのでしょうか？

自分なりに調べてみたところ、あいさつをするものの意味として、

- ① 存在の承認:「あなたを認めています、ここにいますね」と伝えること
- ② 敵意の否定:相手に対して危害を加えない安全な人間であると示すこと
- ③ 関係の起点:すべての円滑な対話や信頼関係の土台を作ること

とありました。

すなわち、「相手の存在を肯定的に認め(存在を認める)、自分に敵意がないことを示す(安全性)ことで、人間関係の扉を開く最初の行動」なのです。これは人間関係を作り上げていくときに、ものすごく重要なことではないかと思います。相手を認めたり、自分を認めてもらったりすることは人権教育の一番大切な部分でもあると思います。単に「礼儀だから」・「しろと言われたから」ではなく、人間関係を作り上げる一つの方法と考えてほしいと思います。

これから特に、家庭や学校、社会において、あいさつはとても重要な意味を持ってきます。家では「行ってきます」や「ただいま」のあいさつをしたり、学校では授業の最初と最後のあいさつをしっかりと前を向いて行ったりしましょう。それを自然にできる人は周りから信頼される人になっていくことでしょう。



○ 合唱コンクールが近づいてきました

10月24日の土曜日に、合唱コンクールが開催されます。10月5日より放課後の合唱練習が開始され、それぞれのクラスでコンクールに向けた取り組みが進められていきます。3年生は最後の合唱コンクールです。最後のコンクールに対しての取り組み方や心構えを各クラスで考えておきましょう。1・2年生もしっかりと取り組むようにしましょう。各クラスの最高の合唱を当日聴けることを期待しています。



○ 中間テストが行われています

本日と明日(10月2日)の2日間で、2学期中間テストが実施されます。先月は「備えあればうれいなし」という話を載せましたが、中間テストに向けた準備はしっかりできたでしょうか。計画(段取り)をしっかり立てて取り組むことは、社会に出ても重要です。今回の取り組みを良くも悪くも見直し、次に生かしましょう。

